
Indirect first love...

水月鏡花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

I n d i r e c t f i r s t l o v e . . .

【Nコード】

N 5 3 4 6 B A

【作者名】

水月鏡花

【あらすじ】

本誌一月号の続きを妄想したものです。
少しネタバレがあるかもしれません。

CPは要×日紗子です。

（前書き）

ネタバレ注意です。

「日紗子、早く帰んぞ」

「え？あ、うん…」

聞き慣れた声と、見慣れた後ろ姿。
いつも、そう。

私はいつもお姉ちゃんの横で笑うアイツの後ろ姿ばかり見てきた。

塚原要

隣の家に住むアイツは、お金持ちで、頭も良くて、
私には到底つり合わないような幼なじみ。

最初から分かった。

アイツはお姉ちゃんが好きで、幼稚で、男勝りな私なんか
”ただの幼なじみ”としか見てなかった。

「日紗子？日ー紗ー子ー？」

「あえ？あ、えっと、なんだっけ？」

「だから、後藤さんのパジャマの柄、どれにすんのかって」

「あ、あー、そーだったね。んん」

お姉ちゃんは今すぐ結婚する。

だから私は、要に告白させようとした。

なのに

「なのに要、何も言わないで・・・」

「は？何？」

「あ、うつん、何でもない」

でも正直言って、アイツがハッキリ告白してたら、きっと私
今ここで笑ってられなかった。

「ねえ、要・・・」

「あ？」

「あんたさ・・・まだ、お姉ちゃんのこと 好きなの？」

「っ・・・んだよイキナリ／＼・・・てか元々好きとかじゃ、ねえし」

「そっか・・・」

「は？」

「そっか、そっか！」

まだチャンスはある。
そう思った瞬間、私の、要に対する想いが溢れ出てきて…
思わず、

要の手を、握ってしまっていた。

（はっ！…っ／／／）

「あ、あの、えつとその…」

「あ…え…？」

「す、すきとか、そういうんじゃないんだかねっ！！」

それだけ言つと私は逃げるように駆け出した。

（ああ…もう私のバカ！墓穴掘ってどうすんのっ！！）

「おい、ちょ、日紗子！？」

いつもの聞き慣れた声も、今だけは少し違って聞こえる。
ほんのちよつと甘みを増したその声は、私の想いに重なってまるで
アイスクリームのようにとけていく。
素直じゃない想いはとけたアイスクリームを染み込ませて、もっと
膨らんで、甘くなる。

今はまだ難しいけど、
いつかきつと素直になってみせる。

だからそれまで、

少しだけ遠回りな、私の初恋。

（後書き）

あたらなるジャンルに飛び出してみました。

君僕はわたしの大好きなマンガの一つです。

読んだことのない方、これを機に読んでみてください！

絶対ハマります。（多分…）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5346ba/>

Indirect first love...

2012年1月14日20時51分発行